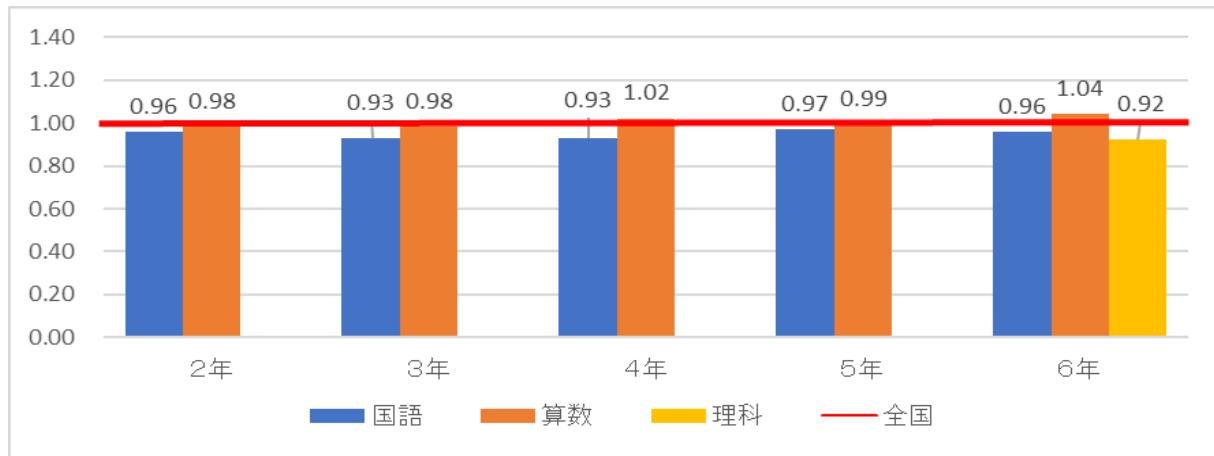


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第二中学校区 池田小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	問題文の読み取りに課題がある。読解問題に取り組むとともに読書活動の推進に学校全体で継続して取り組んでいく。
	算数	基礎的な計算など、繰り返し取り組んでいた項目には定着が見られた。今後、活用問題や課題のある領域の学習の充実を図っていく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	「読むこと」は良好な結果だったが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」は課題が見られた。相手の意見を聞き、自分の考えを伝わるように表現を工夫する活動に取り組んでいく。
	算数	「知識・技能」は概ね良好であったが、「思考力・判断力・表現力」に課題が見られた。引き続き、基礎・基本を大切にしながら既習事項を活用する学習に取り組んでいく。
	理科	記述式問題で全国平均を上回っている一方、基礎的な問題では課題が見られる。今後も根拠に基づいて考えをまとめることの大切さをしながら、基礎的な知識の定着を図っていく。
	質問紙	授業中のICT機器の活用に関する質問に肯定的な回答が多く、活用での様々な効果を実感している様子がうかがえる。今後も積極的に活用し、考えを深めたり交流したりする場面を作っていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

- ・校区3校の公開授業を実施し、「真心の授業」を実践するため教科指導の充実を図る。
- ・校区学力部会で各種学力テスト及び質問紙等の分析を行い、結果と課題を共有する。
- ・分析結果を利用した課題克服の手立てを共有し、主体的な学習者の育成をめざす。
- ・自己調整力の向上について3校で取組を交流し、実践を重ねていく。

【 学 校 】

「つながる授業づくり」を研究テーマとして、ねやがわスタンダードを基に学校全体で授業改善、学力向上に取り組んでいる。きめ細かな指導のため、放課後や懇談時学習、算数の分割授業を実施。また、ディベート学習を通して考える力を育成するとともに、学年に応じた家庭学習について保護者にも周知しながら取組を推進し、自己調整力の向上をめざしている。